

家が所有経営してきた国としては、オーストラリアを唯一の例外として、ほとんど見あたらない。他は多くの民間鉄道の国有化を実施してきたのであるが、国により、時代によってそれぞれ事情を異にしている。すなわち軍事的要請から鉄道の国有化を行ったもの(ドイツ・日本など)、諸州統合という植民政略上の目的から国家が鉄道経営に入ったもの(カナダ)、外国資本の支配から鉄道を独立させるためにこれを国有化したもの(ベルギー・スイスなど)、民間経営が困難を告げたためやむなく政府がこれを引きとって国有化したもの(フランス・ブラジルなど)、社会主義政策の一環として国有化を実施したもの(イギリス)等があり、かかる歴史的過程が鉄道の国有営形態を種々異ならしめている。

なお現在鉄道民有民営を大規模に実施している国としては、アメリカ、ベルギー領コンゴ、アイルランド、スペインなどをあげ得るに過ぎない。——鉄道国有化。

参考文献 佐波宣平著改版 交通概論(昭和23)。(向井重郷)
てつどうのしゅうい 鉄道の種類 鉄道の種類はその見方によっていろいろに分れるが、これを技術上・経済上・法制上から次のように分類できる。

1 技術上の分類

軌間、敷設方式、動力、軌道および車両の構造により次のように分けられる。

(1) 軌間による分類

標準軌間鉄道(standard gauge railway) 標準軌間すなわち軌条の内面間距離が1,435mmの鉄道であって、イギリスで最初に採用されたものである。

広軌鉄道(broad gauge railway) 標準軌間より広い軌間を採用している鉄道。

狭軌鉄道(narrow gauge railway) 標準軌間より狭い軌間を採用している鉄道であって、わが国の鉄道の大部分はこの狭軌鉄道である。

広狹併用鉄道 車輪幅員の異なった二様の車両を運転するために、3本の軌条を敷設した鉄道。

(2) 線路の敷設方式による分類

地表鉄道 地表に敷設した一般の鉄道をいい、高架鉄道、地下鉄道に対する言葉である。

高架鉄道(elevated railway) 交通頻繁な大都市において、立体交差にして人車の一般交通と無関係に列車の運転ができるように、一段高く架設した鉄道。

地下鉄道(underground railway) 高架鉄道の場合と同じ趣旨によって、地下に敷設した鉄道。

(3) 動力による分類

蒸気鉄道(steam railway) 列車を牽引(けんいん)する動力に蒸気を用いた鉄道で、1814年ジョージ・スチーブンソンの蒸気機関車の発明によって始まったものである。

電気鉄道(electric railway) 列車を牽引する動力に電氣を用いた鉄道で、1879年ドイツにおいて、初めて実用化されたものである。

内燃機関鉄道(internal combustion engine railway) ガソリン機関、ガス機関、ディーゼル機関のような内燃機関を動力源とした鉄道であって、ディーゼル機関車、ガソリン動車、ディーゼル動車等を運転している鉄道。

人車軌道 人力によって車両を運転する鉄道であって、10人くらいを乗せた車両を、人が後から押し進む方法によっていたものである。

馬車鉄道(horse railway) 道路上に敷設された線路の上を、

馬の力によって車両を運転する鉄道であって、わが国では人車軌道より先に発達したものである。

(4) 軌道および車両の構造による分類

粘着鉄道(adhesion railway) 動力車の動輪と軌条面の摩擦力によって運転する鉄道であって、一般の鉄道は皆この粘着鉄道である。

単軌鉄道(monorail railway) 1本軌条の鉄道であって、この形式の鉄道はいまだ実用の域には達していないが、試験運転を行っているものに西ドイツのアルベーク(ALWEG)がある。これは両側の下った重心の低い模型車両で、案内車輪によって軌条の両側からはさみ構造になっていて、時速365kmまで出した記録がある。このほかにジャイロスコープを用いる方法も考えられているようである。

懸垂鉄道(suspended railway) 中空に支持された軌条の下に車両を懸垂して運転する鉄道であって、最初ドイツに建設された。小規模のものにはプロペラの回転によって走行するものもある。

歯車式鉄道(toothed railway) 急勾配(こうばい)地形に敷設する鉄道であって、軌道の中央に歯軌条を敷設し、これと動力車の歯動輪とがかみ合うことによって、車輪の空転または滑走を防止する装置を持った鉄道。

アプト式鉄道(Abt-system railway) 歯車式鉄道の一種であって、アプト型歯軌条を用いた鉄道を特にアプト式鉄道と呼んでいる。わが国では信越線の横川・軽井沢間の鉄道にこの形式を用いている。

鋼索鉄道(cable railway) 車両にロープを緊結し、巻揚機によって、軌条の上の車両を運行する鉄道である。急勾配の場所に敷設する鉄道で、今日ケーブルカーとも呼んでいる。

架空索道(aerial cableway) 空中に索条を架設し、これに貨物または旅客を載せる搬器をつるして、搬器の自重または動力によって運搬する装置をいう。

無軌条電車(trolley bus; trackless-trolley system car) ゴムタイヤを持った車両に電動機を備え、架空電車線から集電して路面上を運行するもので、軌条を持たない路面電車のようなものである。

2 経済上の分類

線路敷設の地域、輸送の使命および企業の主体により次のように分けられる。

(1) 線路敷設の地域による分類

一般の鉄道の外に次のような名称がある。

市街鉄道(street tramway) 一市内の輸送を目的として、その大部分が市内にある鉄道を市街鉄道または市内鉄道という。

市内電車 市内交通のために運転している電車で市街電車ともいう。わが国では明治28・1・30京都電気鉄道の営業開始が市内電車の最初である。

市間鉄道(interurban railway) 都市と都市の間を結ぶ鉄道。

連絡鉄道(connecting railway) 二つの鉄道の間を連絡する目的で敷設された鉄道。

郊外鉄道(suburban railway) 市街より郊外へ、または市街の外郭に敷設された鉄道。

郊外電車(suburban electric railway) 都市とその近郊または近接都市間を運転する電車。

路面鉄道(surface railway) 路面上に敷設された鉄道。都市における市街電車はほとんどこの路面鉄道である。

路面電車(surface electric railway) 路面鉄道の一種であって、道路上に軌道を敷設して運転する電車。